

## 第40回日本アルコール関連問題学会

2018年9月8日(土)

龍谷大学 第1会場(龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 B1F B201)

9:30 ~ 11:50 基礎講座 PBL

座長：波床将材(京都市こころの健康増進センター)

**PBL-1** アルコール依存症の診断と治療

角南隆史

地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館 精神科

**PBL-2** アルコール依存症における家族支援

松浦千恵

安東医院

13:10 ~ 18:00 メインシンポジウム PS

依存への広範な支援と連携～医療・心理・社会福祉モデルの統合

座長：辻本土郎(ひがし布施クリニック)

成瀬暢也(埼玉県立精神医療センター)

1部 アルコール医療研究会から関連問題学会への発展～黎明期の理念を伝える

**PS-1** 日本アルコール医療研究会の誕生・・・全国に仲間が出来た

平野建二

新阿武山クリニック

**PS-2** 日本アルコール研究会発足と日本アルコール関連問題学会への発展

齋藤利和

医療法人北仁会幹メンタルクリニック

2部 コーメデカルと関連問題学会～関連問題学会の広がり各職種での対応

**PS-3** 臨床心理士の立場から

信田さよ子

原宿カウンセリングセンター

**PS-4** 私のアルコール看護 ―真逆となった関り―

世良守行

株式会社ジャパンEAPシステムズ

**PS-5 依存への広範な支援と連携 ～医療・保健・福祉モデルの統合 保健師の立場から～**

徳永雅子

徳永家族問題相談室

**PS-6 依存への広範な支援と連携を期待する ～ソーシャルワーカーの立場から～**

西川京子

新阿武山クリニック

**3部 当事者、行政と関連問題学会～関連問題学会と多領域への広がり****PS-7 アルコール依存症からの回復への支援と連携**

小栗政義

公益社団法人 全日本断酒連盟

**PS-8 依存症支援と連携における行政の役割**

～依存症本人と家族への相談・治療・回復の途切れない支援のために～

上野千佳

大阪府 健康医療部 保健医療室 地域保健課 精神保健グループ

**4部 関連問題学会40年を振り返り課題と展望～これからの10年を見据えて****PS-9 依存への広範な支援と連携～医療・心理・社会福祉モデルの統合  
その課題**

村上 優

国立病院機構さいがた医療センター

**PS-10 日本アルコール関連問題学会の課題と展望**

松下幸生

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

**2018年9月8日(土)**  
**龍谷大学 第2会場(龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 B1F B101)**

**9:30 ~ 11:50 総合病院精神医学会・アルコール関連問題学会ジョイントシンポジウム PJS**

**身体合併症を抱えたアルコール依存症治療における連携**

座長：佐藤晋一(いわくら病院)  
 宮川真一(市立豊中病院 緩和ケアセンター)

**PJS-1 精神科単科依存症専門病院の立場からの連携について**

今岡岳史  
 稲門会いわくら病院 精神科

**PJS-2 クリニックの立場からの連携について**

小谷 陣  
 医療法人小谷会 小谷クリニック

**PJS-3 総合病院における院内連携～認知機能低下に着目した動機づけと早期介入について実践方法の共有～**

白坂知彦、常田深雪、相澤加奈、木村永一  
 医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 精神保健科

**PJS-4 一般病院におけるソーシャルワークを通して**

新保一葉  
 社会福祉法人 京都社会事業財団 西陣病院

**指定発言 総合病院における連携を組み立てる際の必須要素**

小松知己  
 沖縄協同病院 リエゾンセンター/心療科

共催：総合病院精神医学会

**13:10 ~ 15:30 専門講座 PSC**

**これからの依存症臨床**

座長：田中増郎(高嶺病院)  
 安東 毅(安東医院)

**PSC-1 アルコール使用障害の治療の流れ～英国留学を踏まえて～**

橋本 望  
 岡山県精神科医療センター

**PSC-2 依存症に併存する発達症の診断、説明、そして治療～生きやすさを生み出すための工夫～**

田中増郎<sup>1,2)</sup>  
 1) 高嶺病院  
 2) 慈圭病院

15:40 ~ 18:00 シンポジウム5 PS5

## 災害とアルコール問題

座長：松本千穂（いわき開成病院）

野田哲朗（兵庫教育大学 臨床心理学コース）

## PS5-1 熊本地震におけるアルコール依存症者 ～震災後2年を経過して～

松永哲夫<sup>1)</sup>、犬飼邦明<sup>1)</sup>、渡邊信夫<sup>1)</sup>、宮崎知博<sup>1)</sup>、鯨島峰子<sup>1)</sup>、吉村裕子<sup>1)</sup>、渡邊鮎子<sup>1)</sup>、西尾 啓<sup>1)</sup>、矢田部裕介<sup>2)</sup>

1) 社会医療法人ましき会 益城病院

2) 熊本こころのケアセンター

## PS5-2 東日本大震災後のアルコール関連問題における支援活動

奥平富貴子、鈴木俊博、三浦敦子、石川 達

東北会病院

## PS5-3 福島県いわき市の自助グループ「AA (Alcoholics Anonymous)」

西村

NPO法人AA日本ゼネラルサービス 理事

## PS5-4 震災とアルコール（被災者・援助者、体験をとおして）

鈴 道幸

兵庫県精神保健福祉センター嘱託職員

## 指定発言 松本千穂

いわき開成病院

2018年9月8日(土)

龍谷大学 第3会場（龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 B1F B102）

9:30 ~ 17:00 特別講座 PSS

座長：田中 禎（ただしメンタルクリニック）

PSS (座長) アドラー心理学 特別講座  
田中 禎

ただしメンタルクリニック

PSS 田中 禎  
ただしメンタルクリニック

**2018年9月8日(土)**  
**龍谷大学 第4会場(龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 B1F B103)**

**9:30 ~ 11:50 講演1 PL1**

**アルコールと子ども虐待—環境の世代連鎖を防ぐ取り組みへ—**

座長：佐古恵利子(リカバリハウスいちご)

**PL1-1 子どもの虐待の現状と親子の支援**

神田真知子  
NPO法人 児童虐待防止協会

**PL1-2 アルコールと子ども虐待 ブラックアウトと暴言暴力**

植松直道  
植松クリニック 精神科

**PL1-3 濱岡清子**

断酒会家族

**PL1-4 藤田 忠**

東住吉断酒会 田辺支部

**13:10 ~ 15:30 シンポジウム4 PS4**

**依存症について保健所・精神保健福祉センターが担う役割と可能性  
～アルコール依存症・健康障害を中心に～**

座長：辻本哲士(滋賀県精神保健福祉センター)  
和氣浩三(新生会病院)

**PS4-1 保健所におけるアルコール関連問題の7年間の取り組み  
～地域ネットワークの充実に向けて～**

井戸勇佑、永松紗由里、梅村和歌子、井上陽子、新美萌子、阪東貞子、橋本 靖、  
塩之谷真弓、丸山晋二  
愛知県衣浦東部保健所

**PS4-2 アルコール問題の早期予防による健康づくり  
～断酒会と協働ですすめる取り組み～**

山田光子<sup>1)</sup>、森友香里<sup>2)</sup>、沖田久美子<sup>2)</sup>、濱田圭子<sup>2)</sup>、逢坂悟郎<sup>2)</sup>  
1) 丹波県民局 丹波健康福祉事務所  
2) 丹波健康福祉事務所

**PS4-3 アルコール健康障害対策における県庁・県立病院・精神保健福祉センターの連携**

平井昭代<sup>1)</sup>、辻本哲士<sup>1)</sup>、後藤有加<sup>1)</sup>、濱川 浩<sup>2)</sup>、村上晶子<sup>2)</sup>、門田雅宏<sup>3)</sup>  
1) 滋賀県立精神保健福祉センター  
2) 滋賀県立精神医療センター  
3) 滋賀県健康医療福祉部障害福祉課

**PS4-4** 岡山市こころの健康センターにおける依存症問題への2つの取り組み  
—GP ネットと職域への出前講座—

太田順一郎  
岡山市こころの健康センター

15:40 ~ 18:00 シンポジウム6 PS6

アルコール問題を有する高齢者は回復する

座長：廣兼元太（広兼医院）

**PS6-1** 長期の健忘症から回復した高齢者アルコール依存症の症例

大浦邦康  
稲門会 いわくら病院

**PS6-2** アルコール問題を抱える方を地域で支える

安東 毅  
安東医院

**PS6-3** 生活の現場から～地域におけるネットワークの課題～

神原智子  
矢田地域包括支援センター

**PS6-4** 不衛生家屋に住む高齢者とアルコール問題～セルフ・ネグレクト事例として  
対応するために～

吉岡幸子  
帝京科学大学医療科学部看護学科

**2018年9月8日(土)**  
**龍谷大学 第5会場(龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 B1F B104)**

**9:30 ~ 11:50 シンポジウム1 PS1**

多様化する依存症～様々な問題への対応を様々な立場から考える～

座長：武藤岳夫(国立病院機構肥前精神医療センター)  
 岸田寿一(特定医療法人旭会和歌浦病院)

**PS1-1 アディクションの併存障害について(総論)**

福田貴博  
 国立病院機構 肥前精神医療センター

**PS1-2 児童精神科医の立場からー児童思春期外来におけるネット依存の実態**

八ッ賀千穂、瀬口康昌、武藤岳夫  
 国立病院機構 肥前精神医療センター

**PS1-3 司法関連機関の立場から～再犯予防とアディクション関連問題**

中野温子  
 京都医療少年院

**PS1-4 専門クリニックの立場から～女性特有のアディクション関連問題**

山田幸子  
 さがセレニティクリニック

**PS1-5 回復支援施設における多様化するアディクション問題とその対応について**

岡田昌之  
 特定非営利活動法人ジャパンマック 障害福祉サービス多機能型事業所 ジャパンマック福岡

**13:10 ~ 14:10 講演2 PL2**

座長：波床将材(京都市こころの健康増進センター)

**PL2 「やめよう」というモチベーション向上の新展開  
 ～ウェルビーイング視点の実践と効果～**

須賀英道  
 龍谷大学短期大学部

**14:20 ~ 15:30 学生・市民セミナー PSCS**

ネット依存、スマホ依存とその取組み

座長：中山秀紀(国立病院機構久里浜医療センター)

**PSCS インターネットゲーム使用障害 ～多角的な視点から～**

片上素久  
 大阪市立大学大学院医学研究科 神経精神医学

2018年9月8日(土)

龍谷大学 第6会場(龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 B1F B105)

9:30 ~ 11:50 シンポジウム2 PS2

## ジェンダー不平等という視座からみる女性のアディクション

座長：大嶋栄子(特定非営利活動法人リカバリー)

PS2-1 性暴力被害者へのトラウマインフォームド・ケアを通してみるジェンダーの課題

野坂祐子

大阪大学大学院 人間科学研究科

PS2-2 ジェンダーと修復的司法 性暴力分野に焦点を当てて

小松原織香

同志社大学社会学部(嘱託講師)

PS2-3 被害者支援・加害者臨床のジェンダー問題

信田さよ子

原宿カウンセリングセンター

PS2-4 女性の回復支援とジェンダー不平等

大嶋栄子

特定非営利活動法人リカバリー

15:40 ~ 18:00 シンポジウム7 PS7

## 各地域のASWの活動 ～問題の発見と回復への支援、そして展望～

座長：武輪真吾(リカバリハウスいちご尼崎)

松村文香(リカバリハウスいちご)

PS7-1 東北地方におけるアルコール関連問題の課題

齊藤健輔

東北会病院 リカバリー支援部 相談支援課

PS7-2 トータルな回復への視点とその支援とは

佐古恵利子

リカバリハウスいちご

PS7-3 地域を創り、地域をつなぐ～依存症専門病院の取り組みから～

岡村真紀

医療法人信和会 高嶺病院

指定発言 藤田さかえ

久里浜医療センター



**2018年9月8日(土)**  
**龍谷大学 第7会場(龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 B1F B106)**

9:30 ~ 12:20 シンポジウム3 PS3

基本法シンポジウム：推進計画作りから、実施へ。地域の先駆的取り組みに学ぶ

座長：堀井茂男(慈圭病院)  
 稗田里香(東海大学健康科学部社会福祉学科)

PS3  
(座長)

アルコール健康障害対策推進計画作りから、実施へ。地域の先駆的取り組みに学ぶ

稗田里香<sup>1)</sup>、堀井茂男<sup>2)</sup>、猪野亜朗<sup>3)</sup>

- 1) 東海大学健康科学部准教授 アルコール健康障害対策関係者会議委員
- 2) 慈圭病院 アル法ネット代表 アルコール健康障害対策関係者会議委員
- 3) かすみがうらクリニック副院長

第1部

PS3-1

アルコール健康障害対策の取り組み

溝口晃壮

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課アルコール健康障害対策推進室

PS3-2

依存症全国拠点機関の活動

樋口 進、真栄里仁

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター、依存症対策全国センター

PS3-3

地方自治体による推進計画の先駆的取り組みの実情

牧戸 貞

三重県医療保健部健康づくり課精神保健福祉班

PS3-4

27道府県の推進計画の中身を10のチェックポイントで見ると？  
 —ASKの調査より

今成知美<sup>1,2,3)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人ASK
- 2) アル法ネット
- 3) アルコール健康障害対策関係者会議

PS3-5

中谷 元

衆議院議員、アルコール問題議員連盟会長

PS3-6

中川正春

衆議院議員、アルコール問題議員連盟会長代行

## 第2部

**PS3-7** 地域で取り組むアルコール関連問題対策  
～中核市のネットワーク形成と展望～

辻本直子

有限会社オラシオン

**PS3-8** 大阪府における推進計画への断酒会の取り組み

伊藤 聡

大阪府断酒会

**PS3-9** 鳥取県におけるアルコール健康障害対策への取り組み  
～専門医療機関から医師会・行政・地域へ協働の輪を広げて～

渡辺 憲<sup>1,2)</sup>、山下陽三<sup>1)</sup>、林 敏昭<sup>1)</sup>

1) 社会医療法人明和会医療福祉センター 渡辺病院

2) 公益社団法人 鳥取県医師会

**PS3-10** 専門職団体の取り組み（専門機関、人材育成について）看護、保健の立場から

松下年子

横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻 医学部看護学科

**PS3-11** アルコール関連問題のある所にソーシャルワーカーあり～ソーシャルワーカーの  
支援力向上の研修を行って～

岡崎直人

特定非営利活動法人 ジャパンマック

13:10～15:30 講演3 PL3

自助グループを知るための講座

座長：坂本 満（新阿武山病院）

亀ノ上美郷（新阿武山病院）

**PL3** 依存症を理解するために4つの自助グループを知っておこう

(座長)

坂本 満、亀ノ上美郷

新阿武山病院

**PL3-1** 断酒会メンバー

京都府断酒平安会

**PL3-2** AA メンバー

AA 関西広報部メンバー

**PL3-3** NA メンバー

NA 広報部メンバー

**PL3-4** GA メンバー

GA 広報部メンバー

## 15:40 ~ 18:00 シンポジウム8 PS8

## アクションからの回復を、支え、守り、育てよう — recovery advocacy movement —

座長：麻生克郎（公益財団法人復光会垂水病院）  
浅井 登（堺市東断酒会）

PS8-1 出会い、ふれ合い、支えあい  
— 飲酒に囚われない生活を目指し

伊藤 聡  
大阪府断酒会

PS8-2 HIV陽性者支援の現場で感じるセックス・ドラッグの法規制とその反動

生島 嗣  
特定非営利活動法人ぷれいす東京

PS8-3 「依存症報道ネットワーク」をつくろう

上岡陽江  
特定非営利活動法人ダルク女性ハウス

PS8-4 回復擁護運動と私の回復

城間 勇  
リカバリー・パレード実行委員会

共催：龍谷大学犯罪学研究センター

## 18:10 ~ 19:40 DVD上映会 PDVD

## アノニマススピーブル

座長：麻生克郎（公益財団法人復光会垂水病院）

PDVD  
(座長) 回復の力を感じてください

麻生克郎  
公益財団法人復光会垂水病院

**2018年9月8日(土)**  
**龍谷大学 第8会場(龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 B1F B108)**

**13:10 ~ 15:30 事例検討会 PCSM**

関西アルコール看護研究会企画 事例検討を通して深める依存症問題の支援について

座長：杉山昌儀(いわくら病院 精神科 薬物・アルコール依存症領域)  
 溝口直美(医療法人社団翠会 八幡厚生病院)

**PCSM (座長) 事例検討会を通して深める依存症問題の支援について**

杉山昌儀<sup>1)</sup>、溝口直美<sup>2)</sup>

- 1) 医療法人稲門会 いわくら病院 精神科認定看護師
- 2) 医療法人社団翠会 八幡厚生病院 精神科認定看護師

＜ファシリテーター＞

- 野口洋一 (社会福祉法人びわこ学園 医療福祉センター草津)  
 長田孝士 (医療法人以和貴会 金岡中央病院)  
 藤岡 誠 (医療法人 杏和会 阪南病院)  
 大北真史 (医療法人 以和貴会 金岡中央病院)  
 久米光太郎(特定医療法人 大阪精神医学研究所 新阿武山病院)  
 松井達也 (京都学園大学 健康医療学部 看護学科)

**16:00 ~ 18:00 リレートーク PRT**

関西発 自助グループとセクハラ問題を語ろう

座長：奥田由子(守山こころのクリニック/大津市保健所)

**PRT (座長) 援助者と自助グループの連携のために  
 一女性が安心して参加できる自助グループを願って一**

奥田由子  
 守山こころのクリニック/大津市保健所

**PRT-1** 奥田由子  
 守山こころのクリニック/大津市保健所

**PRT-2** 池畑寿江  
 断酒会 当事者

**PRT-3** AA 当事者

**PRT-4** 大嶋栄子  
 特定非営利活動法人リカバリー

**2018年9月8日(土)**  
**龍谷大学 第9会場(龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 B1F B109)**

**15:40 ~ 18:00 ケアカフェ PCC**

**ケア・カフェ®JSARP30**

～いろいろな人がごちゃまぜになって赤裸々に語ろう！若者の飲酒のこと。～

座長：野村裕美(同志社大学社会学部)

稗田里香(東海大学健康科学部社会福祉学科)

**PCC**  
(座長)

**ケア・カフェ®JSARP30**

～いろいろな人がごちゃまぜになって赤裸々に語ろう！若者の飲酒のこと。～

野村裕美<sup>1)</sup>、稗田里香<sup>2)</sup>、左右田哲<sup>3)</sup>、大本 淳<sup>4)</sup>

1) 同志社大学

2) 東海大学

3) 北里大学病院

4) 八木植松クリニック

**PCC-1**

左右田哲

北里大学病院

**PCC-2**

稗田里香

東海大学健康科学部社会福祉学科

**18:10 ~ 19:40 夜間集会 PNA**

座長：吉本 尚(筑波大学医学医療系 地域総合診療医学)

稗田里香(東海大学健康科学部社会福祉学科)

**PNA**  
(座長)

**夜間集会(オフ会)「京都で再会！1年に1回の秋の七夕」**

稗田里香<sup>1)</sup>、吉本 尚<sup>2)</sup>

1) 東海大学健康科学部准教授

2) 筑波大学医学医療系 地域総合診療医学准教授

**2018年9月9日(日) 第1会場(国立京都国際会館 1F 宴会場 さくら)****10:50 ~ 11:50 特別講演 PSL**

座長：廣兼元太(広兼医院)

**PSL 刑の一部執行猶予制度以降の薬物依存症地域支援～ Voice Bridges Project ～**

松本俊彦

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

**13:00 ~ 14:00 講演4 PL4**

座長：白坂知信(特定医療法人北仁会 石橋病院)

**PL4 大阪における地域連携～これからの連携を考える～**

辻本土郎

ひがし布施クリニック

**14:00 ~ 15:00 講演5 PL5**

座長：和氣浩三(新生会病院)

**PL5 アルコール医療からはじまった地域保健活動の拡がり**

酒害啓蒙から地域保健活動へ

—山村における25年の歩み

天野宏一

医療法人杏野会 各務原病院

**2018年9月9日(日) 第2会場(国立京都国際会館 1F Room D)****15:10 ~ 17:10 スポンサーシップシンポジウム 1 SS1****新規ガイドラインによるアルコール依存症のトリートメントギャップ解消へ**

座長：宮田久嗣(東京慈恵会医科大学 精神医学講座)

**SS1-1 アルコール依存症治療薬の作用機序と、合理的な使用法**

宮田久嗣

東京慈恵会医科大学 精神医学講座

**SS1-2 アルコール・薬物使用障害の診断治療ガイドラインから これからの展望**

湯本洋介

国立病院機構久里浜医療センター

**SS1-3 総合病院勤務精神科医からみたアルコール依存症治療  
～新規ガイドラインにむけての課題と提言～**

白坂知彦、常田深雪、相澤加奈、木村永一

手稲溪仁会病院 精神保健科

**SS1-4 プライマリケアにおけるスクリーニング・早期介入・連携の重要性  
～新ガイドラインの意義と課題～**

吉本 尚

筑波大学医学医療系 地域総合診療医学

共催：日本新薬株式会社

## 2018年9月9日(日) 第3会場(国立京都国際会館 1F Room E)

13:00 ~ 16:00 シンポジウム9 PS9

## 様々な依存症を通して考える、これからの依存症治療

座長：真栄里仁(久里浜医療センター)

田辺 等(北星学園大学社会福祉学部)

## PS9-1 ギャンブル障害の治療—精神保健福祉センターにおける取り組み—

小原圭司、佐藤寛志

島根県立心と体の相談センター

## PS9-2 ネット依存症

中山秀紀

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

PS9-3 窃盗症(クレプトマニア)の治療現場から  
— 常習窃盗患者1800例の治療経験 —

竹村道夫

医療法人 群馬会 赤城高原ホスピタル

## PS9-4 自傷 —その理解と外来・病棟における対応について—

小林桜児

神奈川県立精神医療センター 依存症診療科

## PS9-5 摂食障害と依存症

安藤哲也

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部



## 2018年9月9日(日) 第4会場(国立京都国際会館 1F Room H)

13:00 ~ 15:00 シンポジウム 10 PS10

## アルコール依存症と日本精神療法(森田療法と内観療法)

座長：芦沢 健(千歳病院)

堀井茂男(慈圭病院)

## PS10-1 アルコール依存症の森田療法による回復

比嘉千賀

ひがメンタルクリニック

## PS10-2 依存と森田療法

芦沢 健

資生会 千歳病院

## PS10-3 アルコール依存症への内観療法

塚崎 稔

医療法人清潮会 三和中央病院

## PS10-4 森田療法と内観療法の併用療法～統合療法に向けて～

堀井茂男

慈圭病院

15:10 ~ 17:10 シンポジウム 11 PS11

## 行政・医療・福祉関係者全員集合！～薬物依存の回復支援を考える～

座長：河佐 勉(和歌山保護観察所)

佐藤 周(滋賀県立精神医療センター 地域生活支援部 地域医療連携係)

## PS11 支援観のつづやきー薬物依存の仲間と共に在中で考えることー

松浦千恵

安東医院 医療福祉相談室

※このシンポジウムではグループワークを行います。

## 2018年9月9日(日) 第5会場(国立京都国際会館 1F Room G)

13:00 ~ 17:10 ワークショップ1 PWS1

座長：米山奈奈子(秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 地域生活支援看護学講座)

**PWS1** 医療ネグレクトを超えて：当事者の治療動機を引き出す技法：動機づけ面接法とドラマセラピーへのお誘い後藤 恵<sup>1)</sup>、大矢照美<sup>2)</sup>、米山奈奈子<sup>3)</sup>、森天理沙<sup>4)</sup>、中村晃二<sup>5)</sup>、川村良一<sup>5)</sup>、太田裕美<sup>6)</sup>、岩佐良江<sup>7)</sup>、久多良律子<sup>8)</sup>

- 1) 翠会ヘルスケアグループ精神医学研究所
- 2) 東京都立松沢病院
- 3) 秋田大学医学部
- 4) 相談支援事業所 回復はどこにでもある
- 5) ジャパンマック
- 6) ひがし布施クリニック
- 7) セレニティハウス
- 8) ビッグブックファミリー

**2018年9月9日(日) 第7会場(国立京都国際会館 5F Room 509)****15:10 ~ 17:10 シンポジウム 12 PS12**

様々な依存症の問題をもつ家族に対する相談支援～さらなる家族支援の充実に向けて～

座長：近藤あゆみ(国立精神・神経医療研究センター)

成瀬暢也(埼玉県立精神医療センター)

**PS12-1 アディクションと親子関係の問題の包括的な理解と支援**

森田展彰

筑波大学 医学医療系

**PS12-2 家族支援力をつける**

吉田精次

社会医療法人あいざと会藍里病院

**PS12-3 薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム**近藤あゆみ<sup>1)</sup>、高橋郁絵<sup>2)</sup>、森田展彰<sup>3)</sup>

1) 国立精神・神経医療研究センター

2) 原宿カウンセリングセンター

3) 筑波大学医学医療系

**PS12-4 薬物依存症の家族支援における個別面接用マニュアルの開発と地域支援者への拡大**栗原玲子<sup>1)</sup>、松原 悠<sup>1)</sup>、佐藤麻理子<sup>1)</sup>、河西あかね<sup>1)</sup>、村井やす子<sup>2)</sup>、松下哲也<sup>2)</sup>、  
吉原恭子<sup>3)</sup>、高橋郁絵<sup>4)</sup>、近藤あゆみ<sup>5)</sup>

1) 東京都多摩立川保健所

2) 東京都南多摩保健所

3) 東京都多摩小平保健所

4) 原宿カウンセリングセンター

5) 国立精神・神経医療研究センター

## 2018年9月10日(月) 第4会場(国立京都国際会館 1F Room H)

10:00 ~ 16:00 ワークショップ2 PWS2

### アディクションへの認知行動療法の極め方：理論に基づく実践

座長：村瀬華子(独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター / 依存症対策全国センター)  
波床将材(京都市こころの健康増進センター)

#### PWS2-1 アディクションへの認知行動療法の極め方：理論に基づく実践

村瀬華子<sup>1,2)</sup>、野村和孝<sup>3)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター
- 2) 依存症対策全国センター
- 3) 早稲田大学人間科学学術院

#### PWS2-2 野村和孝

早稲田大学人間科学学術院

## 2018年9月10日(月) 第5会場(国立京都国際会館 1F Room G)

13:20 ~ 15:20 シンポジウム13 PS13

### 困ったときの次の一手を考える

座長：齋藤利和(医療法人北仁会幹メンタルクリニック)  
宮田久嗣(東京慈恵会医科大学 精神医学講座)

#### PS13-1 うつ病が併存したアルコール依存症の治療

齋藤利和、田山真矢  
医療法人北仁会幹メンタルクリニック

#### PS13-2 発達障害が併存したアディクション治療

宮田久嗣  
東京慈恵会医科大学 精神医学講座

#### PS13-3 トラウマをもった女性のアディクション治療

高橋郁絵  
原宿カウンセリングセンター

#### PS13-4 家族問題をどのようにあつかうか ～新たな試み～

垣渕洋一  
成増厚生病院精神科 東京アルコール医療総合センター

## 一般演題（ポスター）プログラム

**2018年9月9日（日） ポスター会場（国立京都国際会館 メインラウンジ）**

**17:10～18:00 一般演題（ポスター）1 P1**

### 様々な依存症

**P1-1 依存から自立へ・・・各務原病院アローズの実践的取り組み  
——その患者さん、本当に良くなっていますか？**

澤木幾佐、天野宏一、天野雄平、木村武博、古川優樹、加藤圭悟  
医療法人 杏野会 各務原病院

**P1-2 病院とリハビリセンターの連携 —— 家族が共依存から脱却するとき  
何が必要か？**

澤木幾佐<sup>1)</sup>、天野宏一<sup>1)</sup>、遠山 香<sup>2)</sup>、天野雄平<sup>1)</sup>、木村武博<sup>1)</sup>、古川優樹<sup>1)</sup>、加藤圭吾<sup>1)</sup>、  
勇 陽子<sup>2)</sup>、山田興久<sup>2)</sup>  
1) 医療法人 杏野会 各務原病院  
2) NPO法人 岐阜ダルク

**P1-3 ギャンブル障害の保健・福祉的支援のあり方についての研究 第2報**

片山宗紀<sup>1)</sup>、白川教人<sup>1)</sup>、田辺 等<sup>2)</sup>、小泉典章<sup>3)</sup>、小原圭司<sup>4)</sup>、櫻井善啓<sup>1)</sup>、馬場俊明<sup>5)</sup>  
1) 横浜市 こころの健康相談センター  
2) 北星学園大学  
3) 長野県精神保健福祉センター  
4) 島根県心と体の相談センター  
5) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神医療政策研究部  
精神医療体制研究室

**P1-4 ギャンブル障害の相談支援にかかわる支援従事者の態度の測定  
—J-GGPPQの作成(1)—**

片山宗紀<sup>1)</sup>、白川教人<sup>1)</sup>、田辺 等<sup>2)</sup>、小泉典章<sup>3)</sup>、小原圭司<sup>4)</sup>、櫻井善啓<sup>1)</sup>、馬場俊明<sup>5)</sup>  
1) 横浜市 こころの健康相談センター  
2) 北星学園大学  
3) 長野県精神保健福祉センター  
4) 島根県心と体の相談センター  
5) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神医療政策研究部  
精神医療体制研究室

**P1-5 SMARPP 実践に関わった支援者の変容とグループ内への影響について考察**

坂根宏樹、橋本省吾、吉原 潤、平泉めぐみ、藍 哲也  
医療法人北仁会 旭山病院

## 17:10 ~ 18:00 一般演題 (ポスター) 2 P2

## 広範な支援～院内プログラム～

**P2-1 当院における管理栄養士と連携したアルコール依存症者に対する調理プログラムの変遷とこれから**天野良文<sup>1)</sup>、滝 由美<sup>2)</sup>、横田 維<sup>1)</sup>、加藤駿一<sup>1)</sup>

- 1) 成増厚生病院 作業療法室
- 2) 成増厚生病院 栄養科

**P2-2 アルコール用集団認知行動療法のユーザビリティの検討：RELIFE-A<sup>2</sup>プログラムの開発**安見雅子<sup>1)</sup>、岩野 卓<sup>1,2)</sup>、鶴岡敏伎<sup>1)</sup>、高尾美希<sup>1)</sup>、帆秋伸彦<sup>1)</sup>

- 1) 医療法人至誠会 帆秋病院
- 2) 大分大学福祉健康科学部

**P2-3 Community Reinforcement Approach (CRA) プログラムを導入して～シラフの生活に満足するためには～**

木村直友、齋藤利和、田山真矢

医療法人 北仁会 幹メンタルクリニック

**P2-4 精神科診療所で依存症治療プログラムをやってみたい～プログラム参加群と非参加群の患者プロフィールの比較～**

上村敬一、金織来多

うえむらメンタルサポート診療所

**P2-5 当事者・家族の人間関係改善に役立つ「アサーション&アンガーマネジメント」実践報告—第一報**

猪野美春、大谷和美、猪野亜朗

医療法人 山下会 かすみがうらクリニック

**P2-6 依存症に対するアンガーマネジメントプログラムの取り組み**宮田友樹<sup>1)</sup>、扇谷志穂<sup>2)</sup>、小川綾巳<sup>2)</sup>、水口克信<sup>1)</sup>、池田陽子<sup>2)</sup>、山下聖子<sup>1)</sup>

- 1) 医療法人北仁会 旭山病院 リハビリテーション部
- 2) 医療法人北仁会 旭山病院 看護部

**P2-7 治療プログラムの変更にに向けた取り組み  
-ワークブックの使用効果の判定と改編-**

川添智尋、佐々木裕司、新藤勇一

医療法人 北仁会 いしばし病院 依存症治療専門病棟

## 17:10 ~ 18:00 一般演題 (ポスター) 3 P3

## 広範な支援～心理～

## P3-1 アルコール依存症者の注意機能と意欲に関する一考察

水島久美子、内田あおい、奥田正英、水谷浩明  
資生会八事病院

## P3-2 入院アルコール依存症リハビリテーションプログラム (ARP) 参加前後の不安・抑うつ症状の変化に関する評価

足立順代、岸本道太、山本和希、犬塚 伸、埴原秋児  
長野県立こころの医療センター駒ヶ根

## P3-3 12ステッププログラムに参加する依存症者の Psychological Well-Being と心理的強みの検討

内野優子<sup>1,2)</sup>、岩野 卓<sup>3)</sup>  
1) 医療法人 河村クリニック  
2) 放送大学  
3) 大分大学福祉健康科学部

## P3-4 アルコール依存症患者における自分あるいは他人に対して抱く信頼できるという気持ちの特徴の実態

阿部かおり、知念 亮、加藤 直、佐藤伸広、金井千絵  
独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター

## P3-5 アルコール依存症患者のリカバリーに向けて WRAP® を導入した試みー女性再入院患者 2 事例の報告ー

樋田香織、中尾知子、曾根美穂、日高浄子、大塚一乃  
独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

## P3-6 アルコール依存症患者の入院形態による動機づけの差異について

鶴岡敏伎<sup>1)</sup>、岩野 卓<sup>1,2)</sup>、安見雅子<sup>1)</sup>、高尾美希<sup>1)</sup>、帆秋伸彦<sup>1)</sup>  
1) 医療法人至誠会 帆秋病院  
2) 大分大学福祉健康科学部

17:10～18:00 一般演題(ポスター)4 P4

## 連携の構築

## P4-1 多機能型精神科病院における多職種連携

～病棟を越えたアルコール医療の実践から～

長根尾素子、葦澤博一、鈴木良平、蓮尾 玲、栗原 翼  
 成増厚生病院 東京アルコール医療総合センター

## P4-2 社会資源の乏しい地域に退院する方への、フォロー体制の現状と課題

堀川重成、塘真理子、木村友一、静井麻奈  
 医療法人社団 健仁会 船橋北病院

## P4-3 アルコール治療における地域連携の必要性と外来患者の推移

日置悠己  
 医療法人成精会 刈谷病院

## P4-4 アルコール関連問題のある人への支援における地域連携の好事例

ー地域連携ガイドライン作成に向けてー

岡崎直人<sup>1)</sup>、小倉邦子<sup>2)</sup>、山本由紀<sup>3)</sup>、板倉康広<sup>1)</sup>、横山利廣<sup>4)</sup>、野口義春<sup>4)</sup>  
 1) ジャパンマック  
 2) 聖徳大学  
 3) 遠藤嗜癮問題相談室  
 4) NPO法人SUN

## P4-5 アルコール関連問題のある人への地域支援体制の構築

ー地域連携ガイドライン作成に向けてー

小倉邦子<sup>1)</sup>、岡崎直人<sup>2)</sup>、山本由紀<sup>3)</sup>、板倉康広<sup>2)</sup>、横山利廣<sup>4)</sup>、野口義春<sup>4)</sup>  
 1) 聖徳大学  
 2) ジャパンマック  
 3) 遠藤嗜癮問題相談室  
 4) NPO法人SUN



## 17:10 ~ 18:00 一般演題 (ポスター) 5 P5

## 回復支援への様々な取り組み

## P5-1 自らの飲酒問題に取り組む高齢者の飲酒体験

清水めぐみ<sup>1)</sup>、原田小夜<sup>2)</sup>、稲垣絹代<sup>3)</sup>

- 1) 野洲市地域包括支援センター
- 2) 梅花女子大学
- 3) 名桜大学総合研究所

## P5-2 当院におけるアルコール性肝疾患に対する肝移植後の有害再飲酒予防への取り組み

山敷宣代<sup>1)</sup>、野間俊一<sup>2)</sup>、梅谷由美<sup>1)</sup>、石橋朋子<sup>1)</sup>、糺谷康子<sup>1)</sup>、八木真太郎<sup>1,3)</sup>、岡島英明<sup>3)</sup>、海道利実<sup>1,3)</sup>、上本伸二<sup>1,3)</sup>

- 1) 京都大学医学部附属病院 臓器移植医療部
- 2) 京都大学医学部 精神科神経科
- 3) 京都大学医学部 肝胆膵移植外科

## P5-3 一般の人々を対象とした効果的な啓発の試み

島内理恵<sup>1,2)</sup>、二神啓通<sup>1,3)</sup>、朝比奈寛正<sup>1,4)</sup>

- 1) NPO法人AKK こうち
- 2) 高知大学 理工学部
- 3) 高知生協病院 内科
- 4) 兵庫大学 生涯福祉学部 社会福祉学科

## P5-4 精神科訪問看護におけるアルコール依存症の一例～家族支援プログラム導入の効果～

笹井理世<sup>1)</sup>、中程健太<sup>2)</sup>、伊野波匡<sup>3)</sup>、與那嶺敦子<sup>4)</sup>

- 1) 訪問看護ステーション デューン生駒
- 2) 訪問看護ステーション デューン二条
- 3) 訪問看護ステーション デューン川崎
- 4) 訪問看護ステーション デューン沖縄

## P5-5 陽性の治療関係作りを目指し「陽だまりのような場所」を目指して

中村 修<sup>1,2)</sup>、河上 梓<sup>1,2)</sup>、堀川直希<sup>1,2)</sup>、堀川百合子<sup>1,2)</sup>、今村仁美<sup>1)</sup>

- 1) 医療法人コミュニテ風と虹 のぞえ総合心療病院
- 2) 医療法人コミュニテ風と虹 久留米厚生病院